

学校名	佐賀県立唐津特別支援学校
------------	--------------

1 前年度 評価結果の概要	<p>・保護者アンケート(4段階評価)では、すべての項目で平均3.6以上の評価であり、特に、「学力の向上」と「総合」の項目については、いずれも平均3.8の高評価を得ることができた。このことから、本校の目指す「子どもの主体的な学びと育ちを支援する学校生活づくり」については、十分理解と満足をしていただいていることがうかがえる。今年度の重点目標のうち、「子どもが今日の学校生活に満足し、明日の学校生活を期待することができる学校をつくる。」について、おおむね達成できたものと考えられる。</p> <p>・職員アンケート(4段階評価)では、「健康・体づくり」(新型コロナウイルス感染症や各種感染症に対する安全衛生の対応)及び「業務改革・働き方改革」の項目についての自己評価で、昨年度比+0.3ポイントの顕著な向上が見られたことから、それぞれについて、職員の意識が高まったことがうかがえる。特に、業務改善については、会議の精選や書類作成の簡略化等を進めることができ、職員の意識向上につながったものと考えられる。</p> <p>・次年度に向けた課題としては、完成年度を迎える「育成を目指す資質・能力の3つの柱を視点とした、子どもの主体的な学びと育ちにつながる授業」についての研究をさらに推し進めるとともに、日常の生きた授業実践の中に位置づけていく必要がある。また、さらなる業務改善や行事の精選、事務作業の合理化等により、職員の時間外勤務の縮減を図る必要がある。</p>
--------------------------	--

2 学校教育目標	児童生徒一人一人に応じた教育活動を通して、子どもたちの持つ可能性をできる限り広げ、校訓にうたっている「明るく元気に生きる力」「心豊かに生活する力」「たくましく自立し社会に参加する力」をはぐくむとともに、他人を思いやることのできる児童生徒を育成する。
-----------------	--

3 本年度の重点目標	<p>○子どもが今日の学校生活に満足し、明日の学校生活を期待することができる学校をつくる。</p> <p>○子どもが今日の学校生活を「自分から」「自分で」取り組み、「やりがい」「手ごたえ」を感じ、「精一杯」「存分に」活動し、「充実感」「満足感」に浸ることができる学校をつくる。</p>
-------------------	--

4 重点取組内容・成果指標

(1)共通評価項目			
重点取組			具体的取組
評価項目	取組内容	成果指標 (数値目標)	
●学力の向上	●児童生徒一人一人のニーズに応じた指導・支援による確かな学力の定着	○個別的教育支援計画・個別の指導計画作成に当たり、十分な相談や説明があったと回答する保護者の割合70%以上。 ○個別の指導計画を適切な指導・支援に十分に生かすことができていると回答する職員の割合60%以上。	<p>・個別的教育支援計画や個別の指導計画について係で記載内容の確認を行う。また、教育支援計画については保護者ととも作成するものであることを職員に確認を行う。</p> <p>・個別の指導計画については、早下校と合わせて読み合わせを計画して時間の確保をし、級外の職員も入り内容の検討の充実を図る。</p>
	◎子どもの主体的な学びと育ちにつながる授業づくりのさらなる充実	○学校の満足度に関する項目についての保護者の評価の平均 3.7以上。 ○合同職員研修会 年間2回、各学部職員研修会 年間10回程度。	<p>・職員研修会や授業研究会に講師を招き「育成を目指す資質・能力」や「授業づくり」について講演を聴き、職員で共通理解を図る。</p> <p>・各学部で計画を立てて実践を行い、授業の充実を目指して授業参観や授業研究会を行う。</p>
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○仲間とともに活動することにより達成感を味わい、コミュニケーションを取り合う力を育むことができる行事や活動・場面の設定、学期に2回以上。	<p>・生活単元学習や作業学習等において、自分の役割を果たす活動を盛り込む。</p> <p>・様々な人々とコミュニケーションを取り合う力を育むため、就業・施設体験や販売学習等を実施する。</p>
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○職員は児童生徒の問題やトラブル等に適切に対応していると回答する保護者の割合90%以上	<p>・年2回の学校生活アンケートによるいじめ認知・認知し、組織的に早期の対応を図る。</p> <p>・日常の学校生活の中で起きた事案に対して、適切な対応をとる。</p>
	○明るく楽しい学校づくり	○挨拶や明るい学校づくりに関する項目についての職員・保護者の評価の平均3.7以上。	<p>・登校時には、児童生徒や保護者に対し、笑顔を添えて明るく挨拶をすることを心掛ける。</p> <p>・校内では、児童生徒に対し挨拶や言葉かけを積極的にに行い、明るく楽しい学校づくりに努める。</p>
●健康・体づくり	●「安全に関する資質・能力の育成」	●児童生徒の交通事故を0(ゼロ)にする。	<p>・年度初めに「交通安全教室」を実施し、交通マナーやルールを学ぶ機会を設ける。</p> <p>・各月初めに単独通学生生に対して、公共交通機関を利用する上の注意点を指導する。</p> <p>・各学期初めに、通学指導として、登下校中の見守り指導をする。</p>
	○感染症拡大防止に係る取組の充実	○感染症拡大防止に係る取組に関する項目についての職員・保護者の評価の平均 3.7以上。	<p>・感染症拡大防止に係る研修を行う。</p> <p>・感染症拡大防止に係る啓発活動を行う。(ポスター・メール配信・ホームページ掲載)</p> <p>・アルコール消毒液の設置や手洗いの励行など、感染拡大防止に係る継続的な行動をとる。</p>
●地域支援	●効果的な地域支援に向けた特別支援学校のセンター的機能の充実	○地域支援に関する項目についての職員の評価の平均 3.6以上。	<p>・幼・保・小・中・高や福祉機関からの要請による巡回相談等や電話、来校による相談を受けることで、適切な支援内容や方法の情報提供を行い、指導や支援の方向性について一緒に考える。</p> <p>・特別支援教育に関する資質の向上を図るために、研修会を行う。</p> <p>・定期的な連絡会を計画し、福祉、医療などの関係機関との適切な連携、地域支援のためのネットワーク形成に努める。</p> <p>・支援会議やケース会等積極的に参画し、本校の児童生徒への支援内容、方法についての情報を整理し、地域の学校等への支援に活用する。</p>
	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。	<p>・定時退勤日の設定で意識改革を図り、個人研修の日やパーソナルタイムにより時間を確保する。</p> <p>・業務改革として会議時間と会議回数1割削減に努める。</p>

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目

重点取組			具体的取組
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	
○進路指導	○一人一人に即した進路指導の充実	○児童生徒及び保護者のニーズに応じた進路指導に関する項目についての保護者の評価の平均 3.6以上。	・保護者向けの進路学習会を、学齢や時期に応じて適切に実施する。 ・福祉サービス事業所の情報収集、提供に努める。 ・生徒の就業・施設体験先としての新規の企業を開拓する。

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

5 総合評価・
次年度への展望